

かしこく
やさしく
たくましく
元気にあいさつ

清水っ子



令和7年度9月号 令和7年9月19日(金)発行

「啐啄同時(そったくどうじ)」

校長 有水 勝一郎

「啐啄同時(そったくどうじ)」は禅(ぜん)の言葉で、学びを深めようとするお弟子さんに対して師匠である先生が絶妙なタイミングや方法で教え導く様子を表す言葉です。

「啐(そつ)」: ひよこが卵の殻を中からつづく音。

「啄(たく)」: 親鳥が外から殻をつついて割ろうとすること。



【横断幕を取付けていただきました】

両方が同じタイミングで合ったときに、ひよこはかたい殻を破り、新しい世界へ飛び出すことができるかとされています。

しかし現実には、なかなか難しいもの。「早く殻を破って外に出てほしい」と願うあまり、つい「啄」の力が強すぎてしまいがちです。すると子供は「うるさいなあ」と殻の奥に閉じこもってしまうこともあります。

子供にとっては、毎日が初めての経験。「今が大事だよ」と言われても、なかなか実感できないのです。大人だって振り返れば「もっと学んでおけばよかった」と思うことが多いものです。だからこそ、子供たちには早く気づいてほしい、と願うのも自然なことだと私は思います。

では、子供の「啐」を引き出すにはどうすればいいのでしょうか。なかなか簡単なことではありませんが、大人が工夫をして仕掛けていく必要があると私は考えます。言葉で伝える、体験させる、憧れの人に出会わせる…その子の個性に合った方法を探りながら、「自分の力で学びたい」と思えるきっかけをつくっていくのです。

2学期がスタートして、まもなく1か月が過ぎます。小学校期のうちに、学ぶことの楽しさや学び方を少しでも多く感じてほしいと思います。

私たち大人も、子供の「啐」を引き出す腕を、もっともっと磨いていきたいものです。

ご協力ありがとうございました

8月17日(日)に開催された、「愛校作業」にご参加いただき、ありがとうございました。普段の清掃では手の届きにくい場所まできれいになり、学校全体が一段と明るくなったように感じます。皆さまのご協力のおかげで、児童が安心して、気持ちよく学校生活を送る環境を整えることができました。ご協力いただいたすべての方々に、心より感謝申し上げます。

